

2025年春、香川県・直島に新美術館が誕生。

安藤忠雄設計の新たな美術館の創設により、
自然や集落のなかで展開されるベネッセアートサイト直島の活動がさらなる発展形へ

公益財団法人 福武財団（香川県・直島 理事長：福武英明）は、2025年春、香川県・直島町本村地区近くの高台に、新たに「直島新美術館（仮称）」（以下「新美術館」）を開館します。

新美術館は、ベネッセアートサイト直島における安藤忠雄設計のアート施設として10番目になります。地下2階、地上1階の3層からなる美術館では、日本も含めたアジア地域のアーティストの代表作やコミッション・ワークを中心に展示・収集します。

また、企画展示の開催や、トーク、ワークショップといったパブリックプログラムなど展示以外の美術館活動にも取り組み、より多様な視点や表現、時代や社会に対する多義的なメッセージを発信するとともに、繰り返し人々が訪れ、島内外の多種多様な人々が出会う交流・連携の場としても機能させていきます。

新美術館が島の数々のアート施設をつなげ、美術館群として捉えることで、より一層自然や集落と一体化したアート体験を創出するとともに、アートと建築、自然、そしてコミュニティの調和・融合のさらなる発展形を目指します。



「直島新美術館（仮称）」外観イメージ ©Tadao Ando Architect & Associates

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 大山・宮重・太田

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011

E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <https://benesse-artsite.jp/>

個々の施設から美術館群へ

直島には1990年代初頭より、ベネッセアートサイト直島が企画・運営する作品、施設が数々設置されてきました。

瀬戸内海に面した南部には、安藤忠雄設計によるベネッセハウス ミュージアム（1992年開館）や地中美術館（2004年）、李禹煥美術館（2010年）が位置します。

島民の生活や行政の中心的地域である本村地区では、空き家となった古い家屋などを改修しアーティストが空間そのものを作品化する「家プロジェクト」（1998年～）や ANDO MUSEUM（2010年）が公開されています。島の玄関口の宮ノ浦地区では、実際に入浴できる直島銭湯「I♥湯」（2009年）や旧パチンコ店をギャラリーに改修した宮浦ギャラリー六区（2013年）等で、瀬戸内の島々の歴史、文化、民俗に新たな視点で触れることができます。

このように、数々の施設が島内に点在し、美術館群が形成されるなか、新美術館は、これらを有機的に結びつけるものとして機能します。

ベネッセアートサイト直島で10番目となる安藤建築

新美術館の建築は、1992年開館のベネッセハウス ミュージアム以降、30年以上にわたり直島の数々の建物を手掛けてきた安藤忠雄氏が設計を担当します。丘の稜線をゆるやかにつなぐような大きな屋根が特徴的な建物は地下2階、地上1階建てです。トップライトから自然光が入る階段室は地上から地下まで直線状に続いており、階段の両側に4つのギャラリーが配置されています。地上フロアの北側にはカフェを併設し、瀬戸内海を臨むテラスから、豊島や行き交う漁船など、瀬戸内海らしい景観を眺めることができます。

美術館の外観は本村の集落の景観になじむよう、焼杉のイメージに合わせた黒漆喰の外壁や小石が積まれた塀などを予定しており、美術館までのアプローチや建築からも直島の歴史や人々の営みと体験が緩やかに繋がるようデザインされています。

より多様な視点、より幅広い美術館活動へ：アジアの現代アートと交流・連携・発信拠点

ベネッセアートサイト直島では、ベネッセハウス ミュージアムや地中美術館などを中心に、欧米の優れた現代アート作品を数多く収集・展示してきましたが、近年は、ベネッセグループの企業理念である「Benesse＝よく生きる」の考察につながるようなアーティストの活動を支援する目的で1995年よりスタートしたベネッセ賞の舞台を、ヴェネツィア・ビエンナーレからシンガポール・ビエンナーレに移行するなど、アジア地域の現代アートへの注目と関心を深めています。新美術館では、日本も含めたアジア地域のアーティストによる社会や環境、時代に対する独自の批評精神を感じさせる作品を中心に展示・収集します。

また、本美術館では、企画展示の開催や、トーク、ワークショップといったパブリックプログラムなど展示以外のより幅広い美術館活動にも取り組みます。こうして、これまで以上に多様な視点や表現、時代や社会に対する多義的なメッセージを発信するとともに、繰り返し人々が訪れ、島内外の多種多様な人々が出会う交流・連携の場として機能することを意図します。

直島新美術館(仮称) 関係者からのメッセージ



福武総一郎（公益財団法人 福武財団名誉理事長）

私にとって新美術館は、35年以上にわたるこれまでの活動の集大成と言えます。新美術館では、基本、アジアのアートを中心として開始する予定です。ベネッセアートサイト直島全体として考えれば、新たな美術館ができることによって、作品は欧米と日本を含むアジア地域にわたることになります。新美術館も幸せなコミュニティづくりに貢献することで、少しでも明るい未来の象徴になることを願います。

ベネッセアートサイト直島代表。瀬戸内国際芸術祭 総合プロデューサー。大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 総合プロデューサー。公益財団法人 福武財団 名誉理事長。株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問。1973年株式会社福武書店入社。1986年代表取締役社長。2007年に代表取締役会長兼 CEO。2016年10月より名誉顧問。



福武英明（公益財団法人 福武財団理事長）

建築や作品は完成すると、それが最終形であると思われがちです。しかし、その先に何か新たな“動き”や“循環”を生み出すことはできないだろうか——ベネッセアートサイト直島において新美術館は、この“動き”を促す連携の拠点の役割を担うことになると思います。新美術館を拠点として、アーティストや建築家だけでなく、島民や来訪者も含めた方々との交流や協働を通して、新たな“動き”が生み出されていくことを望みます。

公益財団法人 福武財団 理事長。株式会社ベネッセホールディングス 取締役。株式会社キーエンス、株式会社エス・エム・エスを経て、ニュージーランドにて efu Investment Ltd の設立。Kings Plant Barn、Consult Recruitment、Hulbert House 等、複数の企業を現地で経営。2020年 Still Ltd を創業し、様々な事業やイニシアティブを通して、世代を超えて残る新しい文化を興す活動に取り組む。2023年1月より福武財団 理事長。



安藤忠雄（建築家）

直島を世界的に有名な芸術文化の島として開花させたのは、福武総一郎さんの熱意に他ならないと私は考えています。世界中に立派な美術館はたくさんありますが、直島のようにクライアント個人の感性が光り輝いている美術館は稀有だと思います。福武さんとの出会いから35年以上経った今、新美術館に携わるのも、福武さんの自由な精神と強い意志に、これからもついていこうという気持ちがあるからです。

1941年大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所設立。1979年「住吉の長屋」で日本建築学会賞、1993年日本芸術院賞、1995年ブリツカー賞、2005年国際建築家連合(UIA) ゴールドメダル、2010年ジョン・F・ケネディーセンター芸術金賞、後藤新平賞、文化勲章、2015年イタリアの星勲章グランデ・ウフィチャーレ章、2016年イサム・ノグチ賞、2021年レジオン・ドヌール勲章コマンドゥールなど受賞多数。1997年から東京大学教授、現在、名誉教授。



三木あき子（直島新美術館(仮称) ディレクター）

この新しい美術館では、企画展示の開催やパブリックプログラム、出版物制作など展示以外のより幅広い美術館活動にも取り組んでいく予定です。ベネッセアートサイト直島の活動の次なるフェーズに向けた新たな美術館の展開によって、地域に根差しつつ世界に開かれた直島らしい美術館の在りようとともに、アートと建築と自然、そしてコミュニティのさらなる調和・融合のかたちを探求していければと思います。

ベネッセアートサイト直島インターナショナルアーティストティックディレクター、パレ・ド・トーキョー（パリ）チーフ/シニア・キュレーター（2000-2014）等を歴任。ヨコハマトリエンナーレ（2011 アーティストティック・ディレクター、2017 コ・ディレクター）等複数の国際展 / 芸術祭を手掛けるとともに、パービカンアートギャラリー（ロンドン）、台北市立美術館、韓国国立現代美術館、森美術館、横浜美術館、京都市京セラ美術館といった国内外主要美術館のゲストキュレーターも数多く務める。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 画像申請・取材申し込みフォーム | <https://bit.ly/3Z1DKJa>

直島新美術館(仮称)施設情報



[概要]

名称	: 直島新美術館 (仮称)
場所	: 香川県香川郡直島町 3299-73
敷地面積	: 6,017.67 m ²
延床面積	: 3,176.43 m ²
開館	: 2025 年春
ディレクター	: 三木あき子

[ベネッセアートサイト直島とは]

「ベネッセアートサイト直島」は、直島・豊島（香川県）、犬島（岡山県）を舞台に株式会社ベネッセホールディングスと公益財団法人 福武財団が展開しているアート活動の総称です。

瀬戸内海の風景の中、ひとつの場所に、時間をかけてアートをつくりあげていくこと——各島の自然や、地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出していくことが「ベネッセアートサイト直島」の基本方針です。

各島でのアート作品との出会い、日本の原風景ともいえる瀬戸内の風景や地域の人々と触れ合いを通して、訪れてくださる方がベネッセホールディングスの企業理念である「ベネッセーよく生きる」とは何かについて考えてくださることを目指しています。

そして、活動を継続することによって地域の環境・文化・経済すべての面において社会貢献できるよう、現代アートとそれを包括する場である地域がともに成長し続ける関係を築いていきたいと考えています。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 画像申請・取材申し込みフォーム | <https://bit.ly/3Z1DKJa>